＜資料2＞朝鮮-欧州協会顧問による報道声明(抜粋訳)

2019年8月29日

朝鮮―欧州協会の金先敬▲キム　ソンギョン▲顧問が29日、以下の声明を発表した。

最近、英国、フランス、ドイツが我々の通例の軍事訓練と自衛的措置を「挑発」や、国連安保理「決議違反」などと非難し、この問題を国連安保理に持ちこみ、27日に3か国「共同声明」を発表した。

英国、フランス、ドイツは、我々の武装近代化のための自衛的措置に対していつも干渉してくる。これは、誰にも納得の行かない不合理なことである。

これらの国が我々を非難するものさしとして利用している国連安保理の対北朝鮮「決議」は、国連憲章や他の普遍的に認められた国際法をひどく侵害し、主権国家の自衛権と生存権さえ踏みにじろうとする違法で非人道的な文書にすぎず、したがって、我々は未だかつてそれを容認したことはない。

(中略)

これらの国は、韓国での軍事演習や最新殺傷兵器の導入から故意に顔を背けながら、我々の通常兵器開発措置に対して不条理な喧嘩を吹っかけることに突進している。彼らは、そのような無分別で不合理な行為が、自分らが願っている対話の時点を遅らせているだけであるという現実に目覚める必要がある。

我々は、欧州諸国との関係を良好に発展させるという立場であるが、それはいかなる状況下に置かれても自主権の相互尊重に基づくものでなければならない。

英国、フランス、ドイツは、堅く偏見に満ちた考え方から脱却し、朝鮮半島の緊張緩和と平和の保証を促進すべきである。(後略)。（原文英語。訳：ピースデポ）

出典：朝鮮中央通信(英語版)。<http://www.kcna.co.jp/index-e.htm>から、英文記事を日付で検索できる。